

こしがや市議会だより

# harmony

ハーモニー

No.215

令和4年(2022年)

5月1日

発行 越谷市議会  
編集 議会報専門協議会  
☎963-9261(直通) ☎966-6006



## 「いのちと暮らしを守る」「子どもが輝く社会に」 「越谷の未来を創る」政策の実現に向けて

### — 令和4年度当初予算を可決 —

- ◆主な議案の内容……………②③
- ◆審議結果……………③
- ◆常任委員会の審査……………④⑤
- ◆市政に対する代表質問……………⑥⑦
- ◆市議会からのお知らせ……………⑧

### 3月定例会の概要

令和4年3月定例会は、2月21日から3月17日までの25日間にわたり開催しました。

本定例会では、「令和4年度越谷市一般会計予算について」など31件の市長提出議案と1件の委員会提出議案をそれぞれ同意または可決しました。

また、提出された議員提出議案3件のうち、「ロシア連邦によるウクライナへの侵略に断固として抗議する決議について」は全員一致で可決し、その他1件を可決、1件を否決しました。(各議案の結果は3ページに掲載しています。)

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

### 予算議案を予算決算常任委員会で 審査しました

予算・決算議案を効率的かつ効果的に審査するため、3月定例会から全議員が所属する予算決算常任委員会を常設し、その下に部門別の4常任委員会と構成員を同じくする4つの分科会を設置しました。

予算・決算議案を各所管に分けて審査することにより、一般議案の審査と併せて、同じ委員が一連の流れを通して専門的に議案を審査できる組織体系を構築しました。

なお、公平中立の立場にある議長は、常任委員会に所属しないことができるようになりました。

※審査の内容は4・5ページをご覧ください。

市議会だよりの表紙写真を募集しています。  
(詳しくは8ページをご覧ください。)

表紙の写真「あおぞらを泳ぐこいのぼり」  
撮影者 原田 雅章様(大沢在住)  
撮影場所 不動橋そば(令和3年(2021年)5月)

こしがや市議会だよりの愛称「harmony」は、ワンチームを連想させ、調和を奏でるとの思いが込められています。

UD FONT  
by MORISAWA



スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧ください。

マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

[http://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi\\_shisei/gikai/](http://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/gikai/)



# 主な議案の内容

質疑および討論については、その主なものを掲載しています。

各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。

## 市長提出議案

### 専決処分事項の承認を求めることについて（令和3年度越谷市一般会計補正予算（第9号））

本議案は、子育て世帯等臨時特別支援事業の執行に要する経費について、専決処分を行ったため、提案されました。歳入では、国庫支出金で補助金を追加し、歳出では、民生費で子育て世帯等臨時特別支援事業に係る事業費を追加し、補正予算額は、41億5400万円になります。

#### ▶ 議案質疑

**問 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給対象は。**

**答** 支給対象となる世帯は2つのケースがあり、1つ目は基準日の令和3年12月10日に住民登録があり、世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯、2つ目は1つ目のケース以外の世帯で、令和3年1月以降新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、1つ目のケースと同様の事情にあると認められる家計急変世帯である。なお、いずれも住民税が課税されているものの、扶養親族等のみの世帯は対象外である。

### 財産の無償貸付について（仮称越谷市立地域スポーツセンター整備事業用地）

本議案は、議会の議決に付すべき貸付となるため、地方自治法の規定により提案されました。



仮称越谷市立地域スポーツセンター整備事業敷地計画イメージ

#### ▶ 議案質疑

**問 コンビニを建設しないことになった経緯は。**

**答** 大沢地区の周辺地域や日光街道エリアの活性化に貢献できる施設となることを期待し、民間活力を導入した定期借地賃貸方式による整理を目指すこととした基本計画を令和2年3月に策定した。事業募集を実施した結果、体育館とコンビニの事業提案となったが、コンビニが体育館と別棟での整備計画となっていたこともあり、地域要望と一致しなかったことから、体育館と広場の整備事業に変更したものである。

### 令和4年度越谷市一般会計予算について

令和4年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、地方財政を取り巻く環境が厳しい状況にある中で、財政の健全性を堅持しつつ、第5次総合振興計画の着実な推進と、「いのちと暮らしを守る」、

「子どもが輝く社会に」、「越谷の未来を創る」の三つの政策の実現に向けて、編成されました。

#### 令和4年度(2022年度)当初予算の概要

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	1060億円	2.7
特別会計	585億8900万円	1.4
病院事業会計	133億6550万円	▲1.9
公共下水道事業会計	105億3200万円	▲1.1
総額	1884億8650万円	1.7

#### ▶ 議案質疑

**問 コロナ禍の対応策における教訓と課題を当初予算にどのように反映しているか。**

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響があった令和2年度は補正予算を11回、令和3年度はこれまでに補正予算10回の編成をし、その都度感染症対策や支援策に必要な予算を確保し、対応してきた。令和4年度当初予算においては、感染拡大するたびに課題となっていた保健所の体制強化を図るための経費のほか、入院待機者への支援やPCR検査体制の確保に要する経費などを計上している。今後の感染状況に応じて、地方創生臨時交付金などの活用も視野に入れながら、適時補正予算などで対応していきたい。

#### ▶ 反対討論

令和4年度当初予算案は、「いのちと暮らしを守る」ことを基本的な方向として編成され、ワクチン接種の推進や検査の拡充、市民や市内事業者の支援など、評価する点や進めるべき施策がある一方で、小中一貫校整備計画、3学園構想に関する予算も含まれている。これまで教育環境におけるリスクやデメリットを指摘しているが、解決策はほとんど示されないままである。計画ありきで子どもや保護者、住民置き去りの小中一貫校・3学園構想に関する予算が含まれているため、本議案に反対する。

#### ▶ 賛成討論

厳しい財政環境の中で現行の行政サービスの維持に努めるとともに、福田市長が掲げる「いのちと暮らしを守る」、「子どもが輝く社会に」、「越谷の未来を創る」という政策の3本柱を着実に実現し、よりよい市民生活にするための予算措置がされているものと考え。財政の健全性を維持しつつ、職員の一人一人の創意工夫により限られた財源の効果的、効率的な配分に向けた努力が見られ、みんなが共生して生涯を通して安心して暮らしていくことのできる越谷市の実現に向けたものであると確信し、本議案に賛成する。

### 令和4年度越谷市国民健康保険特別会計予算について

#### ▶ 反対討論

被保険者の保険税の大幅値上げを前提としており、加入者の生活実態にそぐわない保険税の引き上げは、市民の理解が得られない。また、コロナ禍で格差と貧困が広がる中で保険税が高過ぎるという被保険者の声が一層切実になっていることから、国民健康保険は社会保障制度の一環であるという立場に立ち返り、国、県、市が一体となって国民健康保険を支え、保険税の引き上げをストップさせるべきであると考え、本議案に反対する。

## 議員提出議案

### ゲノム編集食品の表示等を含めた消費者への情報提供のあり方について検討を求める意見書について

この議案は、細川威議員ほか4人から共同提案されました。

#### 意見書の要旨

ゲノム編集とは、生物が持つゲノム上の狙った部分を切断して突然変異を誘発し生物の性質を変化させる技術であり、農作物の品種改良や新たな治療技術の創出などさまざまな分野での応用が期待されている技術である。ゲノム編集食品は、健康維持を目指した食品やアレルギーが起きにくい食品の開発など消費者にとってメリットがもたらされる可能性がある一方、編集過程で目的遺伝子以外のDNAが破壊されるオフターゲット作用等による健康や環境への影響は分かっておらず、今後の社会的検証が必要である。販売においては、消費者の知る権利や選択する機会の確保の観点から、食品安全性審査の実施や、その食品表示等を含めた消費者への情報提供の在り方について検討するよう強く要望する。

**意見書提出先** 内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）、厚生労働大臣、農林水産大臣、環境大臣

#### ▶ 議案質疑

**問 どのレベルまで食品安全性審査を強く要望するのか。**

**答** ゲノム編集技術は、狙った遺伝子を破壊する技術であり、オフターゲットは従来の品種改良よりも少なくなってきたが、数十年かけて起こるような品種改良を、1年程度で行うのはゲノム編集食品が初めてであるため、オフターゲットが起こる可能性はないとも言いきれないと農林水産省も述べており、注意していかなければいけないと考えている。

**問 各省庁が連携し取り組んでいるこの問題に、あえて今意見書を提出する意図は。**

**答** 令和4年度からゲノム編集食品が一般流通をする見通しになってきていると感じている。課題はあるが、今後の技術革新等のためにも、きちっとした情報公開やトレーサビリティ（※）等をいま一度議論して確立することが国において大変重要であると考え、このタイミングでの意見書提出とした。  
※商品の流通経路を生産段階から最終消費段階まで追跡可能な状態のこと

#### ▶ 賛成討論

▷ ゲノム編集技術は新しい技術であり、食べた結果や栽培した結果が今後どうなるかは未知であり、大切なのは消費者が選択できることだと考える。消費者の知る権利、選択する権利、健康に生きる権利の観点から、食品安全性審査の実施やその食品表示等を含めた消費者への情報提供の在り方について検討するよう強く求める本意見書に賛成する。

▷ 安全性の確保について、十分な知見が必要であり、EUと同等な検査基準が必要ではないか。ゲノム編集の実用化にあたっては、予防原則の立場に立って遺伝子組み換え食品と同等の規制を求め、表示も義務づけが必要であると考え、本意見書に賛成する。

### 福祉・介護、保育などケア労働者の抜本的な処遇改善を求める意見書について

この議案は、山田大助議員ほか5人から共同提案されました。



# 常任委員会 (部門別)の審査

3月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案12件が部門別の常任委員会に付託され審査を行いました。  
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。

## 総務

### 越谷市職員の休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について

**問** 不妊治療に係る休暇を申請する際のプライバシー保護の考えは。また、休暇を取得しやすい環境づくりの考え方は。

**答** 休暇の申請にあたっては、添付資料を原則不要とし、プライバシーの保護に配慮していきたいと考えている。また、休暇を取得しやすい環境づくりについては、相談ができる環境が必要と捉えている。相談体制について、所管課で連携を図るとともに、相談に応じる職員を同性の職員にする等、相談者に配慮して対応していきたいと考えている。

### 越谷市消防団条例の一部を改正する条例制定について

**問** 活動手当から活動報酬に変更する理由は。また、他自治体の状況は。さらに、今後期待される効果は。

**答** 活動報酬に変更する理由は、出勤等に係る役務に対し、活動報酬として支給することが国から示されたことから、変更するものである。県内自治体では、本市と同様に令和4年4月1日の改正を進めている自治体は31団体、令和4年度以降の対応予定は23団体、検討中は7団体、既に改正済みの自治体は2団体である。さらに、改正による効果は、消防団員の処遇を改善することにより、加入促進につなげ、消防団を中核とした地域防災力の充実強化につながるものと考えている。



さくら分団による避難所運営補助訓練の様子

## 民生

### 越谷市公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例制定について

**問** 混浴制限年齢を7歳以上に引き下げた理由は。また、入浴施設や市民への周知方法は。

**答** 国が実施したパブリックコメントにおい

ては、6歳以上の混浴禁止を求める意見もあったが、小学校入学前の児童が含まれることなどを踏まえ、おおむね7歳以上を混浴禁止とする改正が行われた。これに伴い、本市も改正を行う。入浴施設に通知するほか、市ホームページ等を通じて周知を図っていき



## 環境経済・建設



### 市道路線の廃止について

**問** 本議案は当路線を県道として移管するために廃止、次の第11号議案で県道の一部が市道として移管されるために認定という関連があるが、その経緯は。また、市道と県道を付け替えることによる市の費用負担は。

**答** 当路線は都市計画道路浦和野田線の一区間であり、県道越谷野田線に代わる道路となっている。県との協議の結果、浦和野田線の供用開始に合わせ、越谷野田線を市道として移管を受ける旨合意している。浦和野田線は、新大吉橋が完成し、越谷野田線までの区間が開通したことに伴い、県道として移管するため廃止する。費用は相互に、補修費で約3000万円、座標管理で約400万円である。



## 子ども・教育



### 財産の無償貸付について(仮称越谷市立地域スポーツセンター整備事業用地)

**問** 仮称越谷市立地域スポーツセンターと公共施設等総合管理計画の関係は。また、長寿命化を見据えた事業者との協議は。

**答** 今回の建て替えは事業地を市が提供し、建物を民間事業者が整備する。市が建物を借りて体育館として運営していくため公共施設等総合管理計画の対象外施設となるが、事業期間満了時に市の所有となった場合は、当該計画の対象施設となる。また、第1・第2体育館の老朽化に伴い建て替えが急務となる中、今回、PPP手法で整備を進めていく。今後、社会状況の変化や市民ニーズなども踏まえ、事業期間満了後の体育館の在り方について、事業者としっかり協議していきたい。

# 予算決算 常任委員会 の審査

3月定例会に上程された議案のうち、令和4年度(2022年度)の当初予算議案等17件が予算決算常任委員会に付託され、各分科会に送付し審査を行いました。

※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。



## 総務分科会

### 令和3年度越谷市一般会計補正予算(第10号)について

**問** 地方交付税が再算定された理由は。また、

一般財源である地方交付税を臨時財政対策債の償還以外に活用する考えは。

**答** 地方交付税の再算定は、地方交付税の原資となる国税が地方財政計画の見込みよりも上回ったことが理由と考えている。また、今回の地方交付税21億5000万円のうち約17億円は、令和3年度の臨時財政対策債の償還分として交付されるものである。普通交付税として交付されるので、一般財源であるが、基準財政需要額に算入されなくなる分、財政調整基金に積み立てし、元利償還に充てていきたいと考えている。臨時財政対策債の償還の担保について、これまで国へ要望等を行ってきた。今回の再算定は、一部であるが、要望が結実したと認識している。今後も引き続き臨時財政対策債の償還の担保について国へ要望していきたい。

### 令和4年度越谷市一般会計予算について

**問** 地方交付税と臨時財政対策債の総額の推移は。また、交付税増額による市財政への影響は。

**答** 地方交付税と臨時財政対策債のいわゆる財源不足は、コロナ禍の影響を見込んでいなかった令和2年度は55億円、令和3年度は市税の大幅な減収を反映して91億円、令和4年度は市税収入の回復を見込んで前年度より10億円減の81億円としている。令和4年度は交付税原資の国税で増収が見込まれ、地方の財源不足への対応は、地方交付税が増え、臨時財政対策債への振り替えが減ると見込んでいる。その結果、臨時財政対策債の借入額が減れば、後年度の公債費の支出が減り、財政負担が減るものと考えている。



**問** 徴収事務において、預貯金等デジタル照会サービスを導入した理由および導入による費用対効果は。また、セキュリティ対策は。

**答** 預貯金等デジタル照会サービスは、市から金融機関への滞納者の預貯金の照会業務をオンライン化することにより、システム処理が可能となる。導入の経緯は、国から預貯金等の照会、回答業務を令和5年度以降、原則デジタル化する方向性が示され、令和3年7月には、より積極的な検討を行うよう依頼があった。本市としても、県内の団体で普及が進んできたことから、令和4年1月より、無償での試験運用を開始し、4月より新たに計上している。導入による効果として、事務処理に係る負担が軽減される。また、サービス利用に対する費用は、146万円となるが、サービスを利用した場合に削減できる費用は、年間で約40万円を見込んでいる。さらに照会から回答までの日数が、最短で1日となるため、先着手が原則となる差し押えの迅速な執行が可能となり、これが一番の導入効果と考えている。セキュリティ対策については、金融機関と自治体の通信経路を閉域網とし、かつ暗号化するため、堅牢な環境において、データ授受が行えるものである。

**問** 防災ラジオの導入の経緯は。また、配布方法は。

**答** 防災行政無線が聞こえづらいという問い合わせに対応するため、気象条件等に左右されにくい、新たな情報伝達手段として防災ラ

ジオを導入したいと考えている。防災ラジオは、「エフエムこしがや」の電波を使用し、市が災害放送などの緊急情報を流した際に、電源が入っていない状態の防災ラジオに自動で電源が入り、情報を伝えることができる。また、他局のラジオ番組を聴いている時でも自動でエフエムこしがやに切り替わり、情報が流れる仕組みになっている。令和4年度に200台を購入し、希望する方に一部負担いただく形で配布していきたいと考えている。なお、配布については、積極的な周知を行い対応していきたい。



防災ラジオのイメージ

## 民生 分科会

令和4年度越谷市一般会計予算について

**問** 重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業における相談窓口の体制と支援の対象となる案件は。また、社会福祉協議会への委託理由や相談窓口の周知方法は。

**答** 相談者に対し、分野別の相談支援機関が相談を受けることを想定している。相談者が抱える課題に対し、どの機関がリーダーシップをとるべきか判断が難しい案件等について、社会福祉協議会が利用調整を行う予定である。なお、社会福祉協議会への委託理由は、市と社会福祉協議会の計画の方向性が一致していることや、専門職が多数在籍していること等から選定した。また、相談窓口の周知方法については、各相談支援機関に対して説明を行う等、分かりやすい周知に努めていきたい。

**問** 大袋地区センター・公民館整備事業の進め方は。また、地域住民の意見を聴取する考えは。

**答** 大袋地区センター・公民館の大型館化に向け、建設検討委員会を立ち上げ、複数回にわたり議論を行ってきた。令和4年度以降は基本設計および実施設計の予算を計上し、事業を進めていきたいと考えている。なお、整備にあたり、多くの方から意見をいただきたいと考えており、本委員会についても、さまざまな団体等から参画いただいている。また、施設利用者からアンケートを取りながら、設計および建設を進めていきたい。

令和4年度越谷市国民健康保険特別会計予算について

**問** 一般会計繰入金金の減額理由は。また、国民健康保険税に対する市の考え方は。

**答** 保険税の引き上げに伴う収支の改善により、一般会計繰入金を減額している。なお、引き上げに対する住民の負担軽減として、国の制度で令和4年度から未就学児の均等割を2分の1に軽減する制度が開始されるほか、市独自に、18歳以下の子どもが3人以上いる世帯における第3子目以降の子どもの均等割を全額免除する制度を実施する。また、国保の赤字を縮減するため、医療費適正化の取り組みを推進するとともに、国や県へ公費の拡充を求める要望を続けていく。

## 環境経済・建設 分科会

令和4年度越谷市一般会計予算について

**問** 農業生産力強化事業における修繕料と施設改修工事費の内容は。また、集团的いちご観光農園第二工区の開園に向けた事業者等との連携は。

**答** 越谷いちごタウンの温室の被覆材や設備が劣化し始めているため、温室のカーテンや天窗などの修繕を予定している。また、第二工区は、主に造成工事に係る費用を市が負担し、温室や加工所の設置、栽培および運営を民間事業者が行うもので、ノウハウや資金面で民間活力を活かしたものとなっている。さらに、新たな取り組みとして海外への輸出を予定しているが、市としては事業者とジェトロ埼玉事務所との仲介や県との連携等、輸出事業について支援を行っていききたいと考えている。また、海外輸出により、越谷産いちごのブランド力が強化され、市内外へのPR促進効果が期待されるとともに、市内いちご観光農園への来園者増加などの波及効果も期待されると考えている。



さまざまな品種のいちごが食べ比べできる「越谷いちごタウン」

**問** 新方地区デマンド型乗合タクシー実証実験の実施状況と課題に対する認識は。また、多様な輸送資源の検討と休止路線の関連性は。

**答** 新方地区の関係自治会と協議を行ったうえで、実証実験を行ったところ、収支率は1.5%であった。実施後のアンケート調査では、利用しない理由として、「送迎してくれる方が身近にいる」という回答が最も多かった。実証実験の結果は他の地区にもフィードバックする必要があると考えている。多様な輸送資源の例としては、送迎バスを保有する事業者等のバスを運行時間外に使用させていただくことなども考えられる。休止中のバス路線への対応や新規路線の検討などの際には、有効的な活用方法として検討していきたい。

令和4年度越谷市公共下水道事業会計予算について

**問** 大雨に備えたマンホール浮上防止対策の進捗状況は。また、令和4年度の実施予定は。

**答** 緊急輸送道路の車道内に埋設されているマンホールを対象としているが、対策が必要な箇所は現時点で320箇所あり、そのうち令和3年度で施工完了しているものが151基、実施率47.2%となっている。また、令和4年度の実施予定数である35基を加えると、完了予定数は186基、実施率58.1%となる予定である。

## 子ども・教育 分科会

令和4年度越谷市一般会計予算について

**問** 学校施設整備事業債の内容および財源の考え方は。また、城ノ上小学校におけるLED照明改修に係る補助金活用の考えは。

**答** 学校施設整備事業債の内容は、城ノ上小学校のLED改修工事、大相模小学校の公共

下水道整備、大袋小学校のプール改修の設計委託事業、大相模中学校の校舎外壁改修工事を予定しており、地方債、補助金等は極力活用していきたいと考えている。城ノ上小学校のLED改修工事の財源は、学校施設整備事業債以外にも、国からの補助金の活用も考えている。当初予算上では起債のみ計上しているが、補助金の交付決定があれば、令和4年度の補正予算に計上していきたい。

**問** プレーパークの常設化に対する考えは。また、開催場所に関して周辺住民への配慮や、他部署と連携した検討は。

**答** 常設化は重要な課題と認識しており、開催場所の確保をはじめとした諸課題について検討している。令和4年度も定期開催を行っていく中で、常設化に向けた具体的な事業整備を行っていききたい。開催場所の検討にあたっては、近隣住民の理解を得ることが必要不可欠と考えており、開催場所に応じた出来る範囲の活動内容を検討し、事業の周知を図ることで、理解を得ながら進めていきたい。また、関係課所と連携を図り、組織の枠組みを越えて、しっかりと調整していく。



プレーパークでは子どもたちが自由な発想で遊ぶことができます

**問** 校内系ネットワーク保守管理等委託料の増額理由と金額の適正性は。また、学校系・校内系ネットワークの整備状況と今後の見通しは。

**答** 委託料の増額理由は、校内ネットワーク環境の増強、タブレットのフィルター設定等のセキュリティ対策、AIドリルの導入などである。本市では集約型ネットワークを導入しており、学校ごとの契約ではないため、相対的には金額は安価と考えているが、引き続き適正な予算化に努めていく。また令和3年度、庁内と学校のネット環境を分離するとともに、通信の増速化を行った。併せて、各学校には7台ずつWi-Fiルーターを設置しており、学習におけるネット環境は向上していると考えている。今後はさらなる環境の充実を図るため、学術情報ネットワークへの接続に向け大学と協議中であり、早期の実現を目指したい。

全体会において、以下のとおり討論がありました。

令和4年度越谷市一般会計予算について…反対討論1件

令和4年度越谷市国民健康保険特別会計予算について…反対討論1件



予算決算常任委員会全体会の様子

# 市政に対する 代表質問

※各会派の所属人数に応じた掲載枠となっています。

3月定例会では各会派から1人が代表して質問を行いました。代表質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため出席者を必要最小限にして実施しました。

各会派名の右に掲載しているQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、代表質問の録画映像をご覧いただけます。

## 自由民主党 越谷市議団

野口 佳司 議員



### 令和4年度当初予算編成における 財源確保に向けた取り組みについて

問 予算編成の基本方針で、自主財源・依存財源を問わず、これまで以上に積極的な歳入の確保に努めるとともに、選択と集中による予算の効率的・効果的な運用を図ることとあるが、具体的に財源確保に向けての考えは。

市長 自主財源の根幹をなす市税では、経済活動の再開などにより回復の兆しが見え、令和4年度当初予算では、対前年度比約21億円の増としたが、コロナ禍前の水準までの回復は見込めず、厳しい状況にある。引き続き、経済情勢や地方税制度の動向などを注視し、課税客体的確な把握と収納率の向上に努めていきたい。また、依然財源の確保では、国や県などの補助制度はもとより、国の令和3年度補正予算第1号や、昨年末に交付限度額が示された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用など、引き続き積極的な獲得に努めるとともに、公共施設の老朽化対策や道路などの整備に活用する地方債も有効な財源であることから、交付税措置のある有利なものを優先的に後年度の財政負担を考慮しつつ、有効活用を努めていきたい。

問 令和4年度に国県支出金含めて増額予

算計上され、しっかり精査されていることは伺えるが、地方交付税について、令和4年度の当初予算において対前年度比2億円増の算定根拠についての見解は。

市長 例年の地方交付税の積算においては、夏に示される国の概算要求や地方財政対策、あるいは地方財政計画における地方への交付税の配分額、いわゆる出口ベースでの総額、その伸び率、基準財政需要額に新たに算入される項目のほか、拡充される項目を考慮した上で見積りを行っている。令和4年度における普通交付税と臨時財政対策債の合計額を81億円と見込み、国においては前年度から臨時財政対策債が大幅に減となっており、これらを考慮して、普通交付税を2億円増の36億円、特別交付税は前年同額の3億円の積算とした。

問 地方消費税交付金については、令和4年度において72億円で計上されており、そのうち39億円が社会保障財源化分として示されているが、基準財政収入額における留保財源分25%の取り扱いは。また、地方交付税制度については、人口減少社会の到来などで先行き不透明な状況があると危惧しており、今後も国の動向に注視してもらいたいと考えるが、市の考えは。

市長 基準財政収入額への算入については、市税や地方特例交付金などは、留保財源25%が担保されるが、地方譲与税については全額、地方消費税交付金については、税率の引き上げによる増額分について100%算入される仕組みになっている。当初予算で計上した地方消費税交付金72

億円のうち税率引き上げ分による増額分を39億円と見込んでおり、これについては100%が算入されると見込んでいる。消費税交付金の増額分100%算入について、国は当分の間の取り扱いと聞いているが、恒久的に100%算入制度化されないように、交付税制度に関わる要望事項の一つとして、国や県に働きかけていきたい。

### 荻島地区産業団地整備における合意書締結 に向けた現状の取り組み状況について

問 埼玉県企業局と荻島地区産業団地整備の事業化に向けた合意書取得に関する覚書を締結し、その後、地元説明会を行い、3年経過しているが現状の取り組み状況は。

市長 現在、事業予定区域内の権利者の皆様に対して、産業団地整備の事業化に向けた合意書をいただくため、戸別訪問などにより交渉を行っているが、全ての権利者の合意までは至っていない。今後の交渉においても丁寧な説明に努めながら、合意書の締結に取り組んでいきたい。

問 現在、合意書締結まで至っていない権利者の事情も理解しなくてはならないと考えるが、例えば既に合意書締結している区域を基本に、事業計画予定地を変更する考えは。

市長 本事業の区域決定においては、県企業局が主体となって決定された経緯があり、区域の変更をする場合においては、県企業局との十分な協議調整が必要となってくる。今後の権利者の皆様との合意状況等を踏まえ検討していきたい。

## 公明党 越谷市議団

岡野 英美 議員



### 公園施設の寄附事業について

問 公園にベンチを設置する公園施設の寄附事業の取り組みは、公園を利用される市民にも喜ばれ、ベンチを置くことによって、賑わいが生まれる効果も期待できる。また、寄附した住民もメッセージが刻まれることにより、まちづくりへの参加を実感として肌で感じるができると思う。寄附事業も自主財源の確保の一つとなり得ると考えるが、市長の考えは。

市長 ベンチの寄附事業は、広く市民等から寄附を募り、寄附者の名前やメッセージのプレートをつけることで、公園を身近に感じ、市民の皆様と一緒に育み、支え合い親しまれる公園づくりに寄与するものと考えている。また、自主財源の確保とともに、公園施設の充実が図られることから、有効な取り組みであると認識している。今後については、他自治体の取り組み事例な

どを踏まえ、公園がより一層魅力的で、多くの方々に利用していただけるよう、事業の実施に向け検討を進めていきたい。

### 手話バッジの導入について

問 職員が手話バッジをつけることで、全ての会話が手話できず、その後は筆談等で用件を伺うことになったとしても、障がいのある方に寄り添う気持ちは伝わると思う。手話バッジ導入の考えは。

市長 主に窓口業務を担当している職員を対象に平成21年度より手話研修を実施し、延べ217人の職員が研修を修了している。聴覚障がいへの理解を深めるとともに手話を必要とする方が安心して生活を送ることができるよう取り組んでいきたい。

### 被災状況の確認にドローンを導入すること について

問 災害は広範囲に及ぶため、いち早く災害発生を減らし、将来の犠牲者を減らす防災対策を講じていくことは、重要な施策である。ドローンの導入は災害時の迅速な被災状況の確認に有効な手段と考えるが、市として独自のドローンを保有し緊急時への重厚な対応に備える考えは。

消防長 災害現場等の状況をリアルタイム

で消防局に送信することが可能であるドローンを有効に活用する方法や、操作をする職員への研修、ランニングコストなどを調査するとともに、国庫補助金等の活用も含め、導入に向け検討していく。



ドローンのイメージ(厚木市消防本部提供)

### 投票所および期日前投票所の 環境整備について

問 レイクタウン地区の投票所の増設について第1候補の県立越谷南高校と調整をしているようだが、開設の時期は。

選挙管理委員会事務局長 おおむね種々の課題、条件が整理されてきたため、本年7月に執行予定の参議院議員通常選挙に合わせて、開設していきたい。

## 立 憲 市民ネット

山田 裕子 議員



### 児童虐待対策について

**問** 令和2年に県内で警察が児童虐待の可能性があると児童相談所に通告した児童は、前年比426人増で過去最多の1万177人と増加している。本市における現状と児童虐待防止の取り組みは。

**市長** 本市が令和2年度に対応した児童虐待を含む養護相談件数は延べ980件で、前年度に比べ142件増加しており、令和4年1月末現在で延べ926件と令和3年度も高い水準が見込まれる。本市の児童虐待の対応については、越谷児童相談所をはじめ、越谷警察署、越谷市教育委員会など、12の関係機関を構成員とする越谷市要保護児童対策地域協議会で情報の共有を図り対応している。また、子育て世代包括支援センターと連携しハイリスクな家庭に対し保健師による乳幼児育児相談、保育士

による子育て相談、家庭児童相談室の相談員による相談等を行い、幅広い相談窓口による対応に努めている。なお、令和4年度からは子ども安全室に子ども家庭総合支援拠点を設置し、社会福祉士等の資格を有する職員が実情の把握や調査、訪問などの継続的なソーシャルワーク業務を行う。また、子ども家庭総合支援拠点を窓口として困難を抱える人々とホームスタート事業、子ども食堂、主任児童委員の活動などの地域資源とをつなげていく。さらに、迅速かつ確実に児童虐待相談に対応するため、児童相談システムの導入により、警察署や児童相談所等の関係機関と緊密に連携し、児童虐待防止に取り組んでいく。

### オンラインでの教育環境の整備とタブレット端末の活用について

**問** オミクロン株の流行に伴い、小中学校では学級閉鎖が相次ぎ、子どもたちは家庭学習を余儀なくされている。今後も学級閉鎖や臨時休校、分散登校などが生じることを踏まえ通信環境を増強する必要があるが、ネットワーク環境整備の取り組みは。また、各学校で取り組んでいるオンライン

学習の好事例を全学校で共有し、全ての学校で実践できるよう取り組むべきと考えるが、今後の取り組みは。

**教育長** 2月に行われた分散登校期間には、これまでのオンライン環境に加え、各学校にモバイルルーターを追加配備し、モバイルルーターの通信容量を増やすことでオンライン学習が円滑に行える環境を整備した。また、同月にインターネット回線の増速および通信機器の増強を図った。今後は国の学術情報ネットワークであるSINETへの接続を目指し、さらなるネットワーク環境の向上に取り組んでいく。さらに、タブレット端末の活用としては、分散登校中には児童生徒がタブレット端末を持ち帰り、ウェブ会議システムや授業支援アプリを利用したオンライン学習に取り組むなどの活用が進んでいる。各学校の効果的な実践やICT活用推進部員による授業実践、ICTの研究委嘱校での取り組み等をICT活用事例ハンドブック第9版にまとめ、全ての教員へ配布し好事例を共有していく。

## 日本共産党 越谷市議団

工藤 秀次 議員



### 令和4年度予算の特徴について

**問** 「いのちと暮らしを守る」予算の特徴と地方創生臨時交付金の活用方法は。

**市長** 令和4年度当初予算の特徴は、コロナワクチン接種や陽性者への対応、保健所の体制強化などの感染症対策など、「いのちと暮らしを守る」取り組みを最優先に、効率的、効果的な配分に努める。また、昨年新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が措置され、本市へ約9億6000万円が示された。今後補正予算を編成し適切な支援ができるよう対応していく。

### 教職員の働き方改善について

**問** 教職員の超過勤務の実態と改善策は。  
**教育長** 教職員おおむね1300人の平均

値は、小学校で42時間25分、中学校で43時間57分となっている。教職員の加配も含めた増員について、今後も国や県に要望していきたい。働き方改善については、さらなる負担軽減に努めていきたい。

### コロナ対策について

**問** さらなるコロナ対策は。

**市長** 本年2月26日現在の3回目ワクチンの接種状況は約28%で、5月末までに80%の人が接種できる体制がある。また、PCR検査では、市内61医療機関で1日約400人の検査が可能であるが、検査キットが不足しているため、十分な供給量確保を要望している。さらに、事業者支援については、実態に即した効果的な内容を検討し、実施していく。

### 補聴器購入費の補助について

**問** 加齢性難聴者への補聴器の購入補助金制度を創設する考えは。

**市長** 今後検討していきたい。

### 福祉増進のための職員体制について



補聴器のイメージ

**問** 職員の超過勤務を改善する取り組みは。

**市長** 令和2年度から令和3年度にかけて、1人平均2.5時間程度は増加している。会計年度任用職員など必要な人員の確保に努める。

**問** 女性管理職と管理職を志す職員を増やすための取り組みは。

**市長** 例えば育休を取りやすい環境にしていくことはできると考える。職員が働きやすい職場というものを追求していきたい。

## 越谷刷新 クラブ

武藤 智 議員



### 防犯カメラについて

**問** 防犯カメラ設置に対する市長の認識と考えは。また、防犯カメラ設置助成金の創設についての考えは。

**市長** 安全で安心な防犯のまちづくりを推進するため、新越谷駅西口に4台の防犯カメラを試行的に設置した。その後、民間事

業者と設置および管理に関する協定を締結し、駅周辺や不審者情報などが寄せられた公園に40台設置してきた。これらの取り組みにより、刑法犯認知件数が減少にあることから、犯罪抑止効果があるものと認識している。引き続き、効果を検証するとともに、設置場所や台数等を含め、より効果的な運用について調査検討を進める。また、助成金の創設については、地域内の防犯上、配慮が必要な場所など、自治会が細やかに把握している。住宅街などは、自治会が主体となり設置を進めることにより、効果的な配置が出来る。これらのことか

ら、防犯カメラ設置助成金について、今後創設に向け、調査検討を進める。



大袋駅周辺に設置している防犯カメラ

## 日本維新の会

小林 成好 議員



### 親の所得による子どもの学力格差是正について

**問** 本市の子どもの学習支援の状況は。

**市長** 生活困窮者世帯や生活保護受給世帯の小学3年～高校生までを支援対象に「子どもの学習・生活支援事業」を実施してい

る。親の貧困が子どもへ継続されてしまう「貧困の連鎖」防止を目的として、学習教室の開催のほか、学習支援員による家庭訪問を実施し、子どもと親双方と関係構築に努め、不登校などさまざまな困難を抱えた親に対する必要な支援も行っている。

## しがや市議会からの

# お知らせ

### 議会人事

3月定例会において、次の方々が選任されました。(◎委員長、○副委員長)

#### 予算決算常任委員会

◎大野 保司 ○守屋 亨

※委員は、議長を除く全議員

### 4月臨時会について

令和4年4月臨時会を4月25日に開催しました。

議案の内容や議決結果など、詳しくは市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(☎963-9261)

### 6月定例会開催予定

令和4年6月定例会は、6月1日(水)から6月20日(月)までの20日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(☎963-9261)

### 傍聴して一言

本定例会では、70人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

■新築した議場で傍聴したが、議員席等が身近に感じた。

■越谷市の抱える問題や現在の状況について知ることができる、良い経験だと感じた。代表質問では、1人の議員が質問する内容も多岐にわたり、説明もわかりやすく、理解が深まった。

■答弁者(部長)が全員男性で驚いた。

### 表紙写真の募集

令和4年8月1日号のしがや市議会だよりの表紙写真を募集します。

#### 募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

#### 応募規定

1人1回につき2枚まで。おおむね3年以内に撮影したもの。(ただし、景観に変化がなければ制限はありません)



## 市議会 豆知識

市議会の用語や仕組みを解説します。

#### ●委員会と委員会付託

委員会は、本会議での審議の前段階

## 議会中継など、さまざまなツールで市議会の情報をご覧いただけます

越谷市議会では、市民の皆さんに市議会を知っていただくために、さまざまなツールで情報の公開、お知らせをしています。ぜひご覧ください。

#### 議会中継

本会議、常任委員会のライブ中継および録画中継がご覧になれます。



議会中継ホームページはこちら

#### 議会だより

定例会のお知らせを年4回発行しています。スマートフォンアプリからもご覧になれます。(QRコードは1ページの下に掲載しています)

#### ホームページ

定例会のお知らせや議員の名簿等、市議会の情報を詳しく知ることができます。



市議会ホームページはこちら

#### 会議録検索システム

市議会ホームページから、本会議および常任委員会の会議録を閲覧できます。会議名、発言者、キーワードから検索することも可能です。また、製本された会議録は、議会図書室(本庁舎7階)、市役所情報公開センター(第二庁舎2階)等で閲覧できます。

## 会議におけるパソコン等の利用の取り組みをしています

現在、越谷市議会では、資料のペーパーレス化などに向けて、パソコン・タブレット・デジタルペーパー等の会議で



の利用について、使用基準を定めて取り組んでいます。

対象は、議員、執行部職員、議会事務局職員としており、利用については、電子文書等の閲覧のみとし、インターネットなど情報通信は利用できないほか、会議の運営上支障となる行為は行わないこととしています。

#### 応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

#### 応募期間

令和4年(2022年)7月13日(水)まで

#### 応募方法・応募先

応募票に写真を添えて議会事務局(本庁舎7階)まで提出してください。

また、写真をメールで提出していただくこともできます。採用された写真には、応募者(撮影者)の氏名、写真のタイトル、撮影場所を掲載します。なお、応募写真は表紙に合わせて、適宜トリミングや文字の追加等の画

像編集を行いますのでご了承ください。※応募規定など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

## 編集後記

3月定例会は「予算決算常任委員会」を新設置し審査いたしました。

これまでは10人程度の委員による審査でしたが、部門別に4つの分科会で議員全員が予算・決算に関わることで同じ委員が当初予算から決算まで効率的にかつ効果的に審査できる体制となりました。今後とも皆様からお預かりしている市税を市民のために有意義な運営になるよう審査していきたいと思っております。

議会報専門協議会委員  
清水 泉